
公益社団法人滋賀県社会福祉士会

2023年度 事業報告

I 総括

私たち社会福祉士が専門職として目指す社会はどんな社会でしょうか。社会福祉士の倫理綱領の前文およびソーシャルワーク専門職のグローバル定義に照らせば、ウェルビーイングの向上、人々のエンパワメントと解放、社会的包摂の実現、人々がつながりを実感できる社会。

つまり、人々が肉体的・精神的・社会的に満たされ、その人らしい生き方があり、見捨てられることなく人々がつながりを実感できる社会といえます。こういった社会を目指して、人や社会に専門的技術をもって働きかける専門職が、私たち社会福祉士です。

過去5年の新型コロナウイルスの発生と流行、それに伴う生活様式の変容は、人間社会の基礎を造る「つながる」ということに大きな影響を与え、ひいては私たちの実践に深く影を落としています。

2024年1月1日には令和6年能登半島地震が発生し、住宅やライフラインに重大な被害をもたらしました。滋賀県には滋賀県災害派遣福祉チーム「しが DWAT」(DWAT:Disaster Welfare Assistance Team)が組織化されていたことから、そのネットワークを活かすことで福祉関係機関との情報共有や協議を行うことが出来ました。「しが DWAT」の石川県での活動が認められ、1月12日から3月16日まで述べ48名のチーム員が被災地での活動を展開しました。チーム員には本会所属の会員も含まれ、3月23日の臨時総会に合わせて活動報告会を開催しました。

人間社会の基本は「出会うこと」「つながること」「感じること」から始まると思っています。そのことが社会的弱者の苦しみを感じ、遠く離れた被災者の痛みを感じ、孤独のしんどさを感じ、私たちの実践へとつながっていくのだと思います。

2023年度は「つながり」を回復させる年となりました。各委員会の様々な事業において参集型の会議や研修の再開、身近なブロックでの活動にも力を入れて頂きました。新入会員に対するウェルカムパーティーを始めとして、飲食を共にするような場面も見られるようになりました。

2023年度より滋賀県からヤングケアラー支援関係機関研修を受託し、ヤングケアラーへの支援を切り口に多機関連携を軸とした支援者向け研修会を実施しました。

全国レベルでも、大分県で全国大会、大阪府で近畿ブロック研究研修大会が開催されました。近畿ブロック研究研修大会では、滋賀県担当分科会として、地域共生とつながりをテーマとした「イノベーションサロン in 大阪」を実施しました。

このように多くの取り組みを行っており、そのどれもが冒頭で述べた社会福祉士の職責である、クライアントのウェルビーイングの向上、人にやさしい社会の実現へとつながるものであること。また、どの事業も多くの会員と関係機関の協力と、市民と社会の理解のもとに成り立っていることを認識し感謝の意を持ちながら事業を展開してきたところです。

II 事業報告

【公益事業】

1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

(1) 成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み

県下の権利擁護ニーズに応えるため、また、会員の権利擁護対応の質の担保及び向上のため、下記の内容にて「権利擁護センターぱあとなあ滋賀」（以下「ぱあとなあ滋賀」という）の活動の充実・強化を図った。2023年度の権利擁護センターとしての体制は以下の通りである。

センター長	山内克仁（滋賀県社会福祉士会会長）
ぱあとなあ滋賀運営委員長	坂口航一郎
ぱあとなあ滋賀事務局	木下道生
権利擁護担当理事	長橋満見子（滋賀県社会福祉士会副会長）
権利擁護担当理事	藤井陽子
権利擁護担当理事	竹村直人

1) ぱあとなあ滋賀（部会活動）の充実・強化

① 後見活動の実施

2023年度時点（2月報告時点）でぱあとなあ滋賀会員154名、後見381件、保佐253件、補助85件、任意後見5件、監督0件、あわせて724件を受任（昨年度同時点で639件）。

後見人が一人で全責任を負うこととなる後見活動の内容をぱあとなあ定期報告チェック部会にてチェックするとともに、下記定例会において後見実務の質問や情報交換を行うことができる場を確保し、必要に応じ対応策の助言、意見交換を行っている。

2023年度においては、成年後見人材育成研修は実施していないが、ぱあとなあ滋賀としての担い手の質の確保という面に対して、前述のとおり各ブロックにおける定例会や研修等を通じて取り組み、また、ぱあとなあブロック活動における諸要綱を改めて設け、さらにその中において、ブロックにおける定例会への参加を努力義務としたことにより、少しでも顔の見える関係を構築し、定例会への参加呼びかけや、会員間の情報交換、支援の体制が取れるよう努めた。

②定例会の開催 6つのブロックそれぞれでの開催へ

2022年度より定例会を6つのブロックでの開催に切り替え、それぞれのブロックの運営委員により定例会開催が実施されております。主な内容は下記の通り。

(ア) 運営委員会の報告

(イ) 家庭裁判所からの推薦案件についての情報共有

(ウ) ぱあとなあ滋賀会員のフォロー（後見事務に関する質問や情報交換）

(エ) 会員の後見活動の質の向上を目的としたブロック毎の研修企画・開催

③運営委員会の開催と体制整備

地区担当者及び権利擁護担当理事が運営委員となり、運営委員会を分けて毎月第2土曜13時よりオンラインと集合形式で開催した。運営委員会では、主にぱあとなあ滋賀の組織運営に関わる決定事項の決定や、推薦依頼事件について受任状況の進捗の確認を行っている。

また、ぱあとなあ会員の後見活動に関し、福祉関係機関その他の支援機関等からの苦情等がある場合に、その対応について協議を行い、当該会員の後見活動について、必要に応じて運営委員複数による面談、課題の洗い出し、意見の聴取、対応協議等を組織的対応の中で実施した。

加えて、成年後見制度の利用促進に関する国の動き、県の動き、各市町の動きに注視し、今後、中心となる中核機関にぱあとなあ滋賀がどう関わっていくかについて等の協議を行った。

④関係機関との連携、何でも相談会への相談員派遣

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を引き続き整えている。特に、例年実施されている三士会(弁護士会、司法書士会、社会福祉士会)と家庭裁判所裁判官及び主任書記官との意見交換には、主に運営委員長が参画し、「担い手の確保・後見人等への報酬の算定・減算加算の検討について」や市町の報酬助成について、成年後見制度利用促進計画等について情報共有を行った。

さらに、滋賀県主催にて、県下市町の行政機関や各圏域における後見センター、大津家庭裁判所の主任書記官等が参加する形で、成年後見制度利用促進に関する協議会が開催され、運営委員長が出席した。

また、県内福祉圏域のほぼ全てで、高齢者や障害者を対象とし、様々な士業や専門職が集まり相談に応じる総合相談が実施されるようになったことで、社会福祉士にも福祉や成年後見、権利擁護に関する専門職として相談員派遣要請がある。地域のニーズに応えること及び相談対応を行う会員の質の向上並びに他専門職とのネットワークの構築を目的として、運営委員会を通して各ブロックにて人員を広く募り、積極的に会員派遣を行った。

【大津家裁、三士会との協議】

7月11日(火) 16時～ (運営委員長)坂口

9月15日(金) 16時～ (運営委員長)坂口

10月13日(金) 16時～ (運営委員長)坂口

【滋賀県権利擁護支援・成年後見制度利用促進協議会】

6月19日(月) 14時～ (運営委員長)坂口

12月8日(金) 14時～ (運営委員長)坂口

【近畿ブロックぱあとなあ連絡協議会】

10月14日(土)13時～ (運営委員長)坂口

⑤部会活動の充実

ア. 研修部会

ぱあとなあ滋賀会員が社会福祉士としてその倫理綱領、行動規範を基に成年後見活動が行われるよう研鑽を深め、知識と技術の習得を重ねられるよう、年度を通して研修の企画・運営を行った。また名簿登録更新研修を開催した。

<研修企画会議>

- ・部会員で研修の企画運営打ち合わせ
(随時オンラインによる打ち合わせを実施)

○成年後見名簿登録研修の実施

<研修日程> 12月23日(土)

<準備委員会> (随時オンラインによる打ち合わせを実施)

(内容)

- ・具体的な内容、流れについて・日程の決定・講師候補・体制づくり
- ・タイムスケジュール・募集要項・外部講師依頼・スケジュール確認
- ・受講者向け日程案内・事前課題の確認・事前課題スケジュール・当日の確認
- ・そのほかチャットワーク（アプリ）を使った情報の共有や打ち合わせ
- ・研修当日、終了後随時打ち合わせ

○名簿登録更新研修の実施

<研修日程> 3月2日（土）

イ. 報告書チェック部会

事務局と連携しながら、定期報告に対するチェックやインシデントレポートへの対応等を行った。

① 報告書チェック部会の開催

- ・2月報告書のチェック作業

4月24日（月）10:00～15:00 長寿社会福祉センターで実施

2月報告書チェック部会の報告書を運営委員長あて事務局へ提出（4/28）

ばあとなあ滋賀運営委員会で2月報告チェック部会の報告（5/13）

*チェック作業の内容

- ・記入についての確認（面会の頻度や現在の後見活動について等）
- ・「ばあとなあへ」の質問の整理（報告書に記載された質問の抽出等）
- ・インシデントレポートの整理（レポートの抽出等）
- ・チェック後に部会員で総括し運営委員長への報告書をまとめる

② ばあとなあ活動報告システムに関する説明会参加（事務局とチャット部会長参加）

（2023年7月に行われたシステムの改正点説明ならびに利用方法の説明会）

- ・12月1日（金） 日本社会福祉士会 オンライン開催 18時～20時
説明会の要点録をチャットワークに掲載し共有（12/28）

2) 県民のための成年後見制度活用セミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の余波の影響で開催できなかった

（2024年度は開催予定）

(2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

滋賀弁護士会とともに、契約先自治体担当課や地域包括支援センターへの虐待対応ケース会議での助言、困難事例への相談対応など、高齢者・障害者の権利擁護事業に関わる支援を行った。2023年度は、社会福祉士14名、弁護士12名の計26名で活動している。

1) 契約先市町の状況

【2023年度 高齢者・障害者の契約市町】

長浜市、米原市、愛荘町、近江八幡市、甲賀市、
湖南市、野洲市、守山市、栗東市、草津市、高島市
（10市1町 高齢・障害とも契約）

2) 活動内容

【ケース会議等への派遣回数】

長浜市4回、米原市5回、愛荘町0回、近江八幡市7回、甲賀市0回、湖南市0回、野洲市2回、守山市3回、栗東市2回、草津市16回、高島市11回

【定例会の開催】

2か月に1回、専門職チームに所属している社会福祉士及び弁護士が、運営上の課題等について協議を行った。

今年度は 5月10日(水)、7月12日(水)、9月13日(水)、11月8日(水)、1月10日(水)、3月13日(水)にオンラインで実施

【運営委員会の開催】

3～4か月に1回、社会福祉士会の運営委員が専門職チームにおける社会福祉士としての課題解決に向けた協議を行った。

運営副委員長：関守英幹（運営委員長は弁護士会 室田剛志氏）

運営委員：小川学、桐高とよみ、坂口航一郎、竹村直人、長橋満見子

オブザーバー：尾崎史、村田才司

【研修会の開催】

自治体への対応力向上に向けたチーム全体のスキルアップを目的とした研修を開催した。

8月23日(水)

「高齢者虐待防止学会厚労省マニュアル改訂のポイント」

(日本高齢者虐待防止学会における同内容の研修の伝達研修) 講師：小川学

12月2日(土)

「高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法の基礎」講師：桐高とよみ

【助言についての検証会】

市町への派遣後の振り返りを目的とした検証会を3月23日(土)、3月30日(土)実施し、助言のスキル向上や社会福祉士として抑えておくべき点などの確認を行った。

(3) 養護者による高齢者虐待対応初任者研修会の開催

高齢者虐待防止法に基づき、養護者による高齢者虐待対応にあたる市町や地域包括支援センター等の初任者（概ね入職2年以内の新任者）等が、対応にあたる上での法的根拠、専門的視点、技術等を習得し、実践力の向上を図ることを目的として開催した。

開催日： 6月7日(水) 9:30～16:40

会場：大津合同庁舎7D会議室

参加者：44名

(4) 子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり

子どもの権利擁護と地域における子ども家庭支援を担う社会福祉士としての力量を高めるために、会員相互の学び合いや研鑽を目的とした研修会を行った。また、2023年度は県内の子ども家庭福祉の推進のため、当会が滋賀県から委託を受けたヤングケアラー支援関係機関職員研修の運営、さらに滋賀県で開催された日本子ども虐待防止学会の当日運営への協力を行った。

1) 会員を対象とした研修の開催『こどもまんなか交流会』

1月17日(土) 10時00分～12時00分 草津市民交流センター 17名参加
(市町家庭相談員・地域包括支援センター職員・SSW・MSW・子どもの居場所に関わる会員等)

第1部：県内で子ども福祉支援に関わる会員3名が登壇し、実践・事例発表

- ・岩田俊幸氏(元子ども家庭相談センター所長) 「児童相談所の役割と機能」
- ・橋本拓磨氏(長浜赤十字病院MSW) 「医療ケア児への支援とその課題」
- ・増田典子氏(社会福祉法人せせらぎ会)

「ケアハウスを利用したフリースペース事業および学習支援事業・子ども食堂について」

第2部：交流タイム

日々の実践に活かされるよう、安心がもてるつながりを期待し、フリートークタイムを設けました。業種・分野・圏域を超え、幅広い参加者層が集い、交流できた

2) 委員会会議開催 2023年10月29日 20時～21時30分(オンライン)

3) 県・市町のいじめ調査委員会等委員や私立高等学校へのSSW・SV推薦

4) SSW養成に関する調査研究

「スクールソーシャルワーク実践アドバイザー交流集会」日本社会福祉士会主催
2024年3月17日(日) オンライン開催 2名参加(岨中・長橋)

5) 第29回学術集会滋賀大会「日本子ども虐待防止学会」への当日運営協力

2023年11月25日(土) 大津プリンスホテル

2023年11月26日(日) 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

6) 滋賀県委託事業「ヤングケアラー支援関係機関職員研修」の運営

※詳細は下記に記載

(5) 「ヤングケアラー支援関係機関職員研修」開催

この事業は、本会の子ども家庭分野に関する研修事業の実績を鑑みられ、滋賀県よりヤングケアラー支援体制強化事業のヤングケアラー研修推進事業を受託し実施したものである。

令和5年度はヤングケアラーの認知度向上に向けた福祉・教育合同地域別研修として、第1部を立命館大学産業社会学部斎藤真緒教授による講義「子ども・若者ケアラーのと課題について」、第2部をヤングケアラー支援の模擬事例を通じた多職種グループワークを行った。また、第1回目の講義部分について期間限定の動画配信が滋賀県ホームページ上で実施され、視聴アクセスが多数あり、参加者からは“他分野との連携の重要性を再確認できた”等、全体の9割以上の方より「参考になった」というアンケート結果をいただき、非常に高い満足度がうかがえた。

開催日：

【第1回目】 令和5年8月17日(水) 午後 近江八幡男女共同参画社会センター

出席者54名

- 【第2回目】 令和5年11月29日（水）午前 草津市民交流センターキラリ工草津
出席者66名
- 【第3回目】 令和6年1月17日（水）午前 滋賀県立長寿社会福祉センター
出席者40名

参加者：県内市町福祉担当職員（要対協調整機関、高齢者・障がい者福祉担当課）、県福祉担当職員、各市町社協職員、地域包括支援センター職員（社会福祉士、保健師等）、ケアマネージャー、教育委員会指導主事、小中高等学校生徒指導主事、学校教員、民生委員、子どもの居場所・学習支援等スタッフ、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、少年センター職員、里親等）

（6）事業所等相談アドバイス事業の実施

滋賀県再犯防止推進計画の一環（国のモデル事業になっています）として、社会福祉士会が事務局を担い、県行政や専門家チーム（ASB：「反社会的行動を伴った障がい者」に対する地域支援検討委員会）と連携し、地域で犯罪行為歴のある人を支援している人への「支援者支援」を実施した。

- ① 電話相談：8件
- ② インテーク訪問：5件延べ対応5名
- ③ 運営委員会（事例検討会および専門委員会参加）：6回延べ対応13名
- ④ 寄り添いアドバイス：12回延べ対応13名
- ⑤ 地域ネットワーク支援
 - （ア）薬物依存対策ネットワーク会議：3回
 - （イ）ぱあとなあ大津ブロック研修：1回
 - （ウ）滋賀県再犯防止推進計画検討委員会：1回
 - （エ）保護観察所との他機関連携：1回
- ⑥ その他業務
 - ・支援者向けQ&A冊子の増刷、活用当事業にて作成した「警察にお世話になりそうな人からなった人まで ～刑事司法にかかわる福祉支援者のためのハンドブック～」を増刷し、支援者への啓発と支援に役立てていただけるよう活用した。

（7）包括的相談支援従事者サポート事業の実施

この事業は、滋賀県の「令和4年度重層的支援体制整備に向けた取組」の中で、本会が県から受託し実施している。

1）事業内容

複雑で複合的な課題をもつ人の支援者に対し、寄り添い、ともに考え、支える「支援者支援」をケース検討やケースの振り返りなどを通じて行うとともに、実際に福祉の現場でソーシャルワークの実践を担っておられる支援者の知識・スキルの向上のための研修を実施した。この取り組みを本会が行う魅力は、多様な職種で構成されている本会会員のネットワークを活かし、幅広い視点や情報を集め、さらに会員の経験や今までの類似事例を参考にすることなどで、実践的なアドバイスができることにあると考え、多職種連携が必要なケースや処遇困難ケースへのアドバイスから、支援者が日常的に抱える様々な困りごとに対しても、きめ細やかに対応することを目指した。

2) 事業実績

今年度は、支援チームメンバーが各エリアに所属していることと他業務との兼任である状況を踏まえ、ZOOMを活用し、事前アドバイス内容の検討会を実施した。研修については対面実施で2回開催した。

支援者支援会議では、対面実施で今年度は4カ所より依頼があり、開催した。

この事業の実施については、相談申込があればその都度、対応可能な会員に依頼して実施している。昨年度に引き続き今年度も3月に委員を募り、実施体制を構築した。現在22名の会員が参画しており、奇数月に行う事業担当者会議やチャットワークというビジネスチャットを利用し、相互に連絡や情報交換、相談実施の日程調整などを行っている。

- ① 相談支援者を対象にした、面談、アウトリーチによる相談・助言
・対面による相談支援受付 4件
相談支援延べ60名参加・事前検討会議32名参加
- ② 事業推進にかかる会議の実施（奇数月に事業担当者会議として実施）
・事業担当者会議の開催：7回
2023年 7月11日 第1回会議を開催（5名参加）
9月11日 第2回会議を開催（6名参加）
10月21日 第3回会議を開催（7名参加）
11月 2日 第4回会議を開催（5名参加）
11月13日 第5回会議を開催（6名参加）
2024年 1月15日 第6回会議を開催（8名参加）
3月 8日 第7回会議を開催（6名参加）
- ③ 事前事例検討会議 7回（相談依頼があった際に事前開催：不定期）
2023年 7月20日（5名参加）24日（20名参加）
11月15日（11名参加）20日（5名参加）
12月5日（9名参加）
2024年 2月 7日（6名参加）21日（9名参加）
- ④ 研修会・事例検討会の実施 2回実施
[第1回]
開催日：2023年10月21日（金）13：30～15：00
対面研修（アセスメントとアプローチの研修）
研修演題「寄り添った家族支援のために」三つの家を使った支援
講師：子ども・家族・援助者のパートナーシップ研究会 社会福祉士 寺田 陽子氏
参加者：8名（募集定員20名） スタッフ：6名
場所 近江八幡市男女共同参画センター
[第2回]
開催日：11月3日（水・祝）13：30～15：00 対面で実施
研修演題「寄り添った家族支援のために」三つの家を使った支援
講師：子ども・家族・援助者のパートナーシップ研究会 社会福祉士 寺田 陽子氏
参加者：8名 スタッフ7名
場 所：近江八幡市男女共同参画センター
- ⑤ 事業啓発
・事業の啓発チラシと相談サポート申込書を各市町と社協および本会会員に配布
・インターネット上で申込書類が入手できるよう本会ホームページバナー継続、設置
- ⑥ その他
・滋賀県担当者との事業協議
2月 2日（金）13：30～14：30
4月18日（木）10：00～12：00

参加 担当理事 中村・中島

場所 滋賀県庁内 会議室

内容：事業内容の確認

(研修年2回開催、相談支援事業の実施、アドバイス検討会議の実施、事業啓発)

2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

(1) 県民への社会福祉に関する知識及び技術の普及

1) 県民向け公開講座の開催

ア 県民のための成年後見制度活用セミナーの開催（再掲）

・2023年度は開催していない。

イ ソーシャルワーカーデーの開催

・海はすべてを包み、生命を生み出す母胎であり、力強さにあふれていることから、「海の日」（2023年度は7月17日）をソーシャルワーカーデーとして、ソーシャルワーカーに対する関心と理解と促進するシンボルとし、研修や啓発活動を行ってきた。2020年度からコロナ禍の影響を受け、開催を見合わせている。

(2) 社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

1) 共生社会推進委員会の設置

高齢者生活支援委員会、障がい児・者生活支援委員会、生活困窮者支援委員会を「共生社会推進委員会」に統合し、社会福祉の幅広く多様な分野、領域で実践をしている会員同士のソーシャルワーク実践の共有と学び合いを積み重ね、必要に応じた施策提言や発信を行うことを目的に「共生社会推進委員会」を設置した。

【2023年度委員】13名

① 委員会の開催

[第1回]4月24日(月) オンライン

2022年度開催の実践交流会の振り返り

今年度事業の進め方について

[第2回]5月27日(土) 県立男女共同参画センター

2023年度活動について(意見交換)

[第3回]6月22日(木) オンライン

2023年度活動について

[第4回]10月3日(土) オンライン

2023年度活動について

[第5回]11月22日(火) オンライン

研修会の企画

[第6回]2月2日(金) オンライン

研修会の打ち合わせ

② 研修会の開催

3月20日(水・祝) ピアザ淡海

「自分を知る・支援対象者を知る」～交流分析・人格適応論からのアプローチ～

講師：はあとらぼ 代表 岡田まゆみ氏

参加者：20名(委員6名含む)

2) 制度政策委員会

滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会(事務局：県社協)に委員として参画し、滋賀

県に対する社会福祉施策・制度に関する要望、具体的には昨年度より取り組みを進めているヤングケアラーに対する包括的な相談支援について、意見を述べた。

- ① 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会への参画
 開催日：8月30日（水）13：30～15：00
 会 場：滋賀県庁
 出 席：山内克仁
 内 容：滋賀県健康医療福祉部長への要望を行った

(3) 社会福祉士の養成支援

1) 社会福祉士養成支援委員会

専門知識を有した社会福祉士を養成することを目的とし、社会福祉士国家試験を受験する人に対し、受験対策講座および全国統一模擬試験を実施した。

また社会福祉士の養成に必要な現場実習が実りの多いものとなるよう、実習指導者の育成を目的とした実習指導者講習会を実施した。

- ① 社会福祉士実習指導者講習会の運営
 開催日：8月26日（土）、9月2日（土）
 開催方法：集合型
 受講者：21名
 カリキュラム及び講師：
 実習指導概論：岡本 芳也
 実習マネジメント論：山内 克仁
 実習プログラミング論：佐藤 順子
 実習スーパービジョン論：川島 洋

② 社会福祉士国家試験受験対策講座の実施 受講者 16名

	10:00~11:00	11:10~12:10	13:10~14:10	14:20~15:20	15:30~16:30
8月26日(土)	地域福祉の理論と方法 吉村 詔子		社会保障 横井 弘隆	就労支援 サービス 城 貴志	
9月2日(土)	心理学理論と心理的支援 横江 一志		障害者に対する支援と 障害者自立支援制度 山田 宗寛		福祉行財政と 福祉計画 横井 弘隆
9月9日(土)	相談援助の基盤と専門職 岡本 芳也		児童や家庭に対する支援 と児童・家庭福祉制度 岡本 芳也		保健医療 サービス 山内 克仁
9月16日(土)	低所得者に対する支援と 生活保護制度 大岡 紳浩		社会調査の 基礎 藤田 和幸	社会理論と 社会システム 藤田 和幸	権利擁護と 成年後見制度 増田 譲治
10月21日(土)	現代社会と福祉 増田 譲治		相談援助の理論と方法 増田 譲治		
10月28日(土)	高齢者に対する支援と 介護保険制度 関守 英幹		福祉サービスの 組織と経営 横井 弘隆	人体の構造と 機能及び疾病 山内 克仁	更生保護制度 山内 克仁

- ③ 社会福祉士国家試験全国統一模擬試験の実施
 開催日 10月7日（土）

会 場 長寿社会福祉センター
受験者 21名

④ 社会福祉士養成支援委員会の開催

【第1回】

開催日 5月1日(金)
会 場 オンライン
参加者 5名
議 題 今年度事業について
受験対策講座について
実習指導者講習会について

【第2回】

開催日 12月9日(土)
会 場 アクティ近江八幡
参加者 6名
議 題 全国実習指導者講習会担当者会議について
2024年度実習指導者講習会運営に向けて
フォローアップの考え方について
国家試験受験対策の振り返りについて

⑤ 近畿ブロック実習指導担当者会議への参画

7月22日(土) 川島委員
11月18日(土) 川島委員
3月2日(土) 川島委員

【収益事業】

1. 社会福祉事業のサービス評価

(1) 滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業への参画

滋賀県が2000年から取り組んでいる「滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業」は、事業者が自らのサービスについて評価する「自己評価」、事業者でも利用者でもない第三者の評価機関が評価する「第三者評価」等があり、事業者自らの取組により、健康福祉サービスの質の向上を図るとともに、利用者によるサービス選択に資することを目的としている。

本会も2017年12月に滋賀県第三者評価機関の認証を取得し、滋賀県が開催する養成研修を修了した調査者が県内の福祉サービス事業所(介護事業所・障害福祉事業所・保育園等)を対象とした福祉サービス第三者評価を行っている。

(2) 認知症高齢者グループホームの外部評価の実施について(第三者評価委員会の活動の充実・強化)

本会は、2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施。2007年度からは、「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動しており、2012年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬の見直しをきっかけに、本会としても高所大所から再考し、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組んだことで、第三者評価事業への貢献度を一段と高めました。本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員が調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしている。

1) 認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表

【調査実施日】

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① GHやすらぎの里永源寺 | 2023年6月27日(火) |
| ② GHさくらんぼ | 7月3日(月) |
| ③ GHやすらぎの里けやき | 7月28日(金) |
| ④ GH和楽 | 8月7日(月) |
| ⑤ GH安寧 | 9月5日(火) |
| ⑥ GHひいらぎの里 | 9月15日(金) |
| ⑦ GH鈴の家 | 11月22日(水) |
| ⑧ GH緑の癒 | 12月6日(水) |
| ⑨ GHせせらぎ | 2024年1月11日(木) |
| ⑩ GH檀那木 | 1月23日(月) |
| ⑪ GH楽日荘 | 2月5日(月) |
| ⑫ GHしみんふくしの家八日市 | 2月19日(月) |
| ⑬ GH雅荘 | 3月6日(水) |
| ⑭ GHみちくさ | 3月13日(水) |
| ⑮ GH沖野原 | 3月25日(月) |

2) 福祉サービス事業所の第三者評価

- ① 社会福祉法人虹の会「ハーモニー」
9月4日(月)・7日(木) 調査
- ③ 社会福祉法人ひまわり会「柏木保育園」
9月25日(月)・26日(火) 調査
- ④ 社会福祉法人くじら「菩提寺くじらこども園」
11月13日(月)・14(火) 調査
- ⑤ 湖南市立下田こども園
11月20日(月)・21(火) 調査
- ⑥ (株)日本保育サービス「アスクわに保育園」
11月27日(月)・29日(水) 調査
- ⑦ 社会福祉法人ひまわり会「水口北保育園」
11月28日(火)・12月7日(木) 調査

3) 第三者評価機関・調査員の資質の向上にむけた取り組み

①第三者評価委員会(不定期開催)

【第1回】

7月22日(土) 10:00~12:00 会場:コミュニティーセンターやす

【第2回】

10月7日(土) 10:00~12:00 会場:滋賀県立長寿社会福祉センター第2教室

②滋賀県健康福祉サービス第三者評価調査者養成研修

1月11日・17日・24日・2月1日(4日間)

会場:大津合同庁舎等 受講者:4名

4) 地域密着型サービス事業所へのPR活動の取り組み

- ・新規事業所に対する活動…県からの指定情報の提供を受けて、直ぐにPRチラシを郵送する。
- ・新規に受託した事業所に対するPR活動…初めて受託した事業所に対しては、事前に事業所を訪問し説明会を行っている。

○評価件数の推移

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
第三者評価(件)	—	—	—	—	—	3	3	2	6	6
GH外部評価(件)	12	12	5	10	6	9	5	10	16	15

【その他の事業】(相互扶助等事業)

1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

(1) 生涯研修センター運営委員会

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要があります。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することとなった。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲを実施しました。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行いました。

なお、本会として以下の4項目を基本的な考え方として研修を行うこととしました。

- 1 滋賀県社会福祉士会会員自身が互いに育てあう関係での研修を実施する
- 2 社会福祉のプロとして自身の振り返りの場としての研修へ参加する
- 3 社会福祉のプロとして自身の業務の発信の場(講師となって自らの業務を発信する)
- 4 様々な部門の者が集い、連携構築を図る場とする

1) 生涯研修センター運営委員会の開催

2023年4月19日(水) オンライン会議

2023年9月13日(水) オンライン会議

2023年12月19日(火) オンライン会議

内容: 集合研修講師・研修委員会・事務局会議・近プロ大会について

(2) 会員研修の実施 (全て対面研修で実施いたしました)

1) 基礎研修Ⅰの実施 受講者数 34名

開催日	時間	科目
10月7日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士会のあゆみ 講師：山内 克仁 ・日本社会福祉士会、滋賀県社会福祉士会の組織 講師：市川 忠稔 ・生涯研修制度 講師：磯崎 圭一郎 ・社会福祉士の専門性について考える 講師：井上 良信
1月20日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士に共通する専門性の理解 講師：谷口 卓也 ・倫理綱領・行動規範の理解 講師：井上 良信 ・社会福祉士の倫理綱領の実践適用 講師：小寺 信子

2) 基礎研修Ⅱの実施 受講者数 24名

開催日	時間	科目
5月20日(土)	9:30 ~13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の視座と展開過程 (オリエンテーションを含む) 講師：西倉 邦浩
6月17日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・実践のためのアプローチ 講師：上村 文子 ・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 講師：横井 弘隆
7月8日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・集合研修1「実践事例演習」 講師：坂本 彩
7月29日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源の理解と社会資源開発 講師：中原 一隆 ・連携システムのあり方とネットワークの構築 講師：大久保 孝仁
8月19日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における福祉政策と福祉計画 講師：関守 英幹 ・社会福祉調査の方法と実際 講師：磯崎 圭一郎
9月16日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパービジョンとは ・スーパービジョンのモデルセッションを見る ・スーパーバイザー体験 講師：池田 周平
10月7日(土)	9:30 ~13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研究の意義と方法 講師：乾 昌典
10月28日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研究のための記録 講師：山浦 文乃 ・実践評価の方法 講師：上村 文子
11月18日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研究発表の方法 講師：奥村 昭
12月16日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉における法Ⅰ 講師 木村 真由子 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ 講師：竹村 直人
1月20日(土)	9:30 ~16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉における法Ⅱ 講師：田村 幸司 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ 講師：中村 真理

3) 基礎研修Ⅲの実施 受講者数 23名

開催日	時間	科目
5月20日(土)	9:30 ~16:50	・対人援助と事例研究 ・事例研究の基本枠組み 講師：藤井 一幸 ・事例研究の方法としてのケースカンファレンス 講師：磯崎 圭一郎
6月17日(土)	9:30 ~16:00	・事例研究のための事例のまとめ方 講師：谷口 周作 ・実践事例研修Ⅱ 講師：小寺 信子
7月8日(土)	9:30 ~15:30	・模擬事例検討会 講師：猪飼 立子
7月29日(土)	9:30 ~16:50	・意思決定の支援 講師：桐高 とよみ
8月19日(土)	9:30 ~16:50	・地域における福祉活動 講師：奥村 昭
9月16日(土)	9:30 ~16:50	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営 講師：磯崎 圭一郎 ・福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント 講師：松井 邦夫
10月7日(土)	9:30 ~13:00	・リスクマネジメント、苦情解決システム 講師：森嶋 友里子
10月28日(土)	9:30 ~16:00	・事例研究(苦情・リスク・サービス評価) 講師：島田 一子
11月18日(土)	9:30 ~16:50	・地域の課題解決に向けた具体策について 講師：山口 浩次
12月16日(土)	9:30 ~16:00	・新人教育プログラム 講師：松井 邦夫
1月20日(土)	9:30 ~15:00	・スーパービジョンのモデルセッション 講師：海部 久美

4) 全国研修担当者会議への参加

2023年5月14日(日)(オンライン開催)

出席者 (研修委員長) 木村

2023年9月23日(土)(対面開催)

出席者 (理事) 磯崎、(理事) 中村

5) 近畿ブロックとの調整

① 第31回近畿ブロック研究・研修 大阪大会での 滋賀分科会開催

「イノベーションサロン IN 大阪」(カフェマスター：みんなでe-こうか)

ワールドカフェ方式で開催

参加者(カフェマスター含む)：35名

- ② 近畿ブロック研修委員会への参加
 - 7月 7日（金）オンライン
 - 出席者（会長）山内（理事）磯崎
 - 10月21日（土）対面開催：大阪
 - 出席者（会長）山内（理事）磯崎
 - 2月11日（日）対面開催：大阪
 - 出席者（理事）磯崎（理事）中村

6) スーパービジョン実施体制のモデル事業実施

① スーパービジョン実施にかかるマッチングサポート

認定社会福祉士・認定上級社会福祉士の取得や更新に必要であるスーパービジョン受講の希望者が今後増加することを想定している。この事業で、スーパーバイザーとスーパーバイザーのマッチングを中心としたサポートを行い、会員がスーパービジョンに取り組みやすい体制を整えた。

スーパーバイザー登録者数	8件（2024年3月末現在）
スーパービジョンマッチング実施	7件

【その他の事業】（相互扶助等事業）

2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

(1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

1) 3団体との連携

滋賀県内ソーシャルワーカー3団体（滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士会、滋賀県社会福祉士会）の情報交換・情報共有と合同研修の企画のためにグループLINEを作成。

2) 研修企画会議

- [第1回] 11月27日（月）オンライン
三団体合同企画について
- [第2回] 12月12日（火）オンライン
合同研修会について

3) ソーシャルワーカー三団体合同研修会

3月3日（日）県立長寿社会福祉センター
孤独・孤立に支援者はどう向き合うか～アウトリーチと伴走型支援の視点から～
講師：スチューデント・サポート・フェイス 代表 谷口仁史氏
参加者：44名

(2) ソーシャルワーカーデー関連事業

「海の日」（2023年度は7月17日）をソーシャルワーカーデーとして、ソーシャルワーカーに対する関心と理解と促進するシンボルとし、研修や啓発活動を行ってきた。2020年度からコロナ禍の影響を受け、開催を見合わせている。

(3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

1) 介護職員人材育成・確保対策連絡協議会への参画

滋賀県の介護職員の育成と確保を目的に、各種団体等により構成された協議会に参画し、滋賀県としての方向性や取り組み等の検討を行っている。昨年度より、滋賀県の介護の魅力発信やイメージアップを図るための催しとして、「しがけあ」を通して、様々な取り組みを行ってきた。

※インターネット内のサイトも充実していますので、一度ご覧ください
(<https://shigacare.fukushi.shiga.jp/>)

11月25日(土)にビバシティ彦根にて、「第3回しがけあフェスタ」が開催され、構成団体の一員として参画。本会では、魅力発信部会により他団体と協働し、バルーンワークショップ(様々なバルーンアート作品を、バルーンの竿で釣ってもらう)を実施したほか、ビー玉を使った脳トレボードゲーム「ビー玉32-1」コーナーを設けた。

- ① 介護職員人材育成・確保対策連絡協議会
7月18日(火)
令和5年度第1回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会(オンライン開催)
10月12日(木)
令和5年度第2回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会(オンライン開催)
3月14日(木)
令和5年度第3回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会(大津合同庁舎)
- ② 滋賀県介護の魅力等発信部会
7月6日(木)
令和5年度第1回滋賀県介護の魅力等発信部会(オンライン開催)
7月18日(火)
令和5年度滋賀県介護の魅力等発信部会臨時会議(オンライン開催)
10月4日(水)
令和5年度第2回滋賀県介護の魅力等発信部会(オンライン開催)
11月21日(木)
滋賀県介護の魅力等発信部会 コア会議(草津市)
3月26日(火)
令和5年度第3回滋賀県介護の魅力等発信部会(オンライン開催)
- ③ 介護の仕事魅力発信事業児相化検討会
1月26日(金)
第1回介護のしごと魅力発信事業自走化検討会(滋賀県危機管理センター)
3月7日(木)
第2回介護のしごと魅力発信事業自走化検討会(大津合同庁舎)
- ④ しがけあアンバサダー会議
10月4日(水)
第1回しがけあアンバサダー会議(大津合同庁舎)
11月2日(木)
第2回しがけあアンバサダー会議(大津合同庁舎)
11月13日(月)
第3回しがけあアンバサダー収録同行(KBS京都)
12月13日(水)
第3回しがけあアンバサダー会議(オンライン開催)
1月15日(月)
第4回しがけあアンバサダー会議(大津合同庁舎)
2月14日(金)
第5回しがけあアンバサダー会議(大津合同庁舎)

⑤ しがけあフェスタ連絡調整会議

7月21日(金)

令和5年度第1回しがけあフェスタ連絡調整会議(オンライン開催)

8月24日(木)

令和5年度第2回しがけあフェスタ連絡調整会議(オンライン開催)

9月27日(水)

令和5年度第3回しがけあフェスタ連絡調整会議(オンライン開催)

10月6日(金)

令和5年度第4回しがけあフェスタ連絡調整会議(オンライン開催)

10月26日(木)

令和5年度第5回しがけあフェスタ連絡調整会議(オンライン開催)

11月16日(木)

しがけあフェスタ現地視察(ビバシティ彦根)

11月20日(月)

令和5年度第5回しがけあフェスタ連絡調整会議

⑥ 「第3回しがけあフェスタ」の開催

日 時：令和5年11月25日(土) 10:00~16:00

会 場：ビバシティ彦根 1F みんなの広場

参加・協力：滋賀県社会福祉士会及び他団体 17名

バルーンボランティア(レイカディアえにしの会) 2名

2) しが介護の職場合同入職式実行委員会

介護業界のイメージアップと、滋賀県内で就職した職員の定着を目的に、介護関係の職場に入職した職員につきまして、毎年、滋賀県全体で入職式を開催しています。

今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、ハイブリッド形式にて5月18日(木)に式典及び研修会が開催されました。昨年同様に式典・研修会と福祉業界の音楽等活動グループのチームエンパワメントによるライブが開催されました。当事業は毎年6月末までを1期として事業を進めています。

4月26日(水)

令和5年度「しが介護の職場合同入職式」第4回実行委員会(オンライン開催)

5月18日(木)

令和5年度しが介護の職場合同入職式及び研修会開催(ハイブリッド開催)

6月20日(火)

令和5年度「しが介護の職場合同入職式」第5回見行委員会(オンライン開催)

10月6日(金)

令和6年度「しが介護の職場合同入職式」第1回実行委員会

(滋賀県長寿社会福祉センター)

12月22日(金)

令和6年度「しが介護の職場合同入職式」第2回実行委員会

(滋賀県長寿社会福祉センター)

2月14日(水)

令和6年度「しが介護の職場合同入職式」第3回実行委員会(キラリエ草津)

3月13日(水)

令和6年度「しが介護の職場合同入職式」第4回実行委員会(キラリエ草津)

3) 滋賀県介護・福祉人材センター運営委員会

介護・福祉人材の確保・定着支援・ネットワークづくりの推進及び情報共有、滋賀県介護・福祉人材センターの事業を効率的かつ円滑にするとともに、機能強化に向けた意見交換の場として委員会が設置され、滋賀県社会福祉士会としても当委員会に参画しています。

8月24日(木)

第1回介護・福祉人材センター運営委員会(滋賀県長寿社会福祉センター)

3月27日(水)

第2回介護・福祉人材センター運営委員会(滋賀県長寿社会福祉センター)

3. 広報委員会の活動の推進

「みんなで笑顔になる仕事」というキャッチフレーズのもと以下の事業を計画し、年度内の広報紙の発行を目標に、各種の活動を進めました。

1) 広報紙(はと・めーる)の発行

本会および様々な社会福祉士の活動について、また社会福祉士として知っておく必要のある社会課題等、そして、会員の交流の一つのツールとなるように、年度内の広報紙(はと・めーる)発行に向けて準備(取材や原稿作成等)を進め、2024年3月に第13号を発行することができました。(会員への配布は2024年4月になりました。)

『リレー式★お仕事紹介～社会福祉士の仕事を知る!～』を新たに掲載していくこととし、初回も5人の社会福祉士の方に登場いただくことができました。

2) ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができました。

広報紙(はと・めーる)と同様に、色々な社会福祉士の活動について広く周知を図る内容を取り入れて進め、広報紙をホーム・ページへ掲載しました。

ブログ「滋賀県社会福祉士のひろば」については、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会およびブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営に努めました。

情報発信や広報のツールとして、Xやインスタグラムの導入を検討し、活用に向けて進めていくこととしました。

3) 本会の紹介パンフレットの刷新や啓発グッズの作成

パンフレットの刷新に向けて、魅力発信部会と協力して検討をしましたが、刷新にまでは至っておりません。

4) 広報委員会の開催・委員の活動

広報委員の募集を広く行い、3名の新メンバーに加入いただき、12名のメンバーで活動することができました。3回の広報委員会の開催と各種の取材活動を進め、適宜、LINEやメールを活用して、情報交換や連絡等を行いました。

5) 滋賀県介護の魅力等発信部会との連携

滋賀県介護のしごと魅力発信事業の同部会と連携を図りながら活動することができ、しがけあフェスタに参加させていただき、その内容を広報紙へ掲載することができました。

6) 活動経過

8月27日(日)	第1回広報委員会「はと・めーる内容案の検討 他」
10月7日(土)	2023年度基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを取材・受講者へ委員募集案内
10月22日(日)	第2回広報委員会「『リレー式★お仕事紹介』の役割分担 他」
11月14日(火)	『リレー式★お仕事紹介』取材①(高島市)
11月21日(火)	『リレー式★お仕事紹介』取材②(大津市)
11月24日(金)	『リレー式★お仕事紹介』取材③(甲賀市)
11月25日(土)	しがけあフェスタ参加(彦根市) 『リレー式★お仕事紹介』取材④(彦根市・しがけあフェスタ)
11月30日(木)	『リレー式★お仕事紹介』取材⑤(草津市)
2月4日(日)	第3回広報委員会「はと・めーる発行に向けて(編集) 他」
3月	広報紙(はと・めーる第13号)発行

4. 災害対策支援委員会の運営

県内各福祉関係団体とともに大規模災害発生時、当会のネットワークや会員のエンパワメントを活かした活動を行うことを目的として発足しています。今年度は、当会の災害対策支援委員会にて、また、災害時に活動できる福祉専門職養成研修など、近畿ブロック各府県士会と連携を深めています。

2021年4月1日に滋賀県と滋賀県災害派遣福祉チーム（DWAT）の協定締結を行っています。2021年度末に各協定締結団体に、DWAT 要綱等改正についての意見ヒヤリングが行われ、2022年4月1日に滋賀県災害派遣福祉チーム設置運営要綱が改訂されました。

滋賀県災害派遣福祉チーム（DWAT）の設置が、滋賀県の災害対策として重きを置いているところであり、当会としても DWAT チーム員養成に積極的な呼びかけを行っています。現在、滋賀県社会福祉士会の19名の方が DWAT チーム員として登録をされています。

また2024年1月1日に発生した能登半島地震により、石川県からしが DWAT への派遣要請があり、1月12日から3月16日の約2か月間、DWAT 協定締結後初の派遣が実施され、当会からも7名の会員が現地で実際の支援にあたっていました。そのことに伴い年明けから関連会議等も増えております。

- 9月 6日（水）
令和5年度「滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議」
- 10月15日（日）
令和5年度滋賀県総合防災訓練「災害福祉支援ネットワーク本部設置・運営訓練」
- 12月5日（火）
滋賀県社会福祉士会令和5年度第1回災害対策支援委員会
- 1月8日（月）
能登半島地震にかかる福祉支援関係機関打ち合わせ（オンライン開催）
- 1月10日（水）
能登半島地震に係る DWAT 協定団体打ち合わせ（オンライン開催）
- 1月26日（金）
DWAT 関係事務についての情報交換会（オンライン開催）
- 2月12日（月）
社会福祉士会近畿ブロック災害支援委員会
- 2月27日（火）
3月以降の DWAT 派遣に関する事前説明会（オンライン開催）
- 3月23日（土）
能登半島地震における当会の活動報告会（本会令和5年度臨時総会后）

5. 圏域活動の活性化

2023年度は新型コロナが感染症法上の5類に移行され、身近な圏域ブロックでの自主的な研修や交流が対面方式を中心に、再び活発に行われた。ブロック活動に対する補助等について要項の整備などを通じ、ブロック活動の体制の基盤を整えた。

1) 湖西ブロック

- ・10月28日（土）テーマ「依存と共依存の支援について」
～社会福祉士が知っておきたいこと～
会場：安曇川公民館 講師：辻本哲士氏（県立精神保健福祉センター所長）

2) 大津ブロック

- ・5月27日（土）テーマ「地域福祉における社会福祉士の役割」
会場：ピアザ淡海 講師：山口浩次氏

3) 湖北ブロック

4) 湖東ブロック

※今年度は湖北ブロックと湖東ブロックの共催で以下の研修を行いました

- ・ 5月26日(金) テーマ「ソーシャルワークの機能」
講師：実践ソーシャルワーク塾長 菊池健志氏
- ・ 9月17日(日) テーマ「社会福祉士の連携について」
- ・ 12月20日(水) テーマ「一年の振り返りと来年の展望」研修会と懇親会

5) 甲賀ブロック

- ・ 11月21日(日)
テーマ 「～私とソーシャルワーク Challenge!! 認定社会福祉士への道～」
会場：甲賀市まちづくり活動センターまる一む 講師：望月俊有氏

6) 湖南ブロック

【第1回】

開催日 7月5日(水) 19:00～20:45
テーマ 「会員同士の交流を目的とした事例検討&グループワーク」
会場：ウイングプラザ 講師：淵田 麻里子氏

【第2回】

開催日 10月5日(木) 19:00～20:45
テーマ 「住まいが見つからない独居認知症高齢者の支援について」
会場：キラリエ草津 講師：甲斐 一範氏

【第3回】

開催日 1月13日(土) 16:00～17:30
テーマ：「わたしが紡ぐ、ソーシャルワーク
～地域に根差し、仲間に寄り添う 社会福祉士～」
会場：ウイングプラザ 講師：島田 一子さん
※研修後「AZICA 栗東店」にて新年会を開催

6. 新規入会の推進

社会福祉士として登録し当会へ入会する場合、登録料や入会金および当該年度の会費を合わせると5万円程度の支出となる。特に若年層の入会希望者にとっては、負担感が大きいと思われることから、2020年の日本社会福祉士会臨時総会において、30歳未満の新規入会者について入会金および当該年度の会費を無料とする案が提案され、2021年度の日本社会福祉士会臨時総会において規約が改正された。

本会においても併せて規約の改正を行い、30歳未満の新規入会者について、入会金と当該年度の会費については無料としている。

他、広報誌やホームページにより、本会の活動について、積極的に情報発信を行っている。

7. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組み、積極的活用についての協議を行った。

8. 事務局体制の整備・充実

1) 事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行った。

2) 公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

滋賀県総務部総務課の指導も受けながら、公益法人の基準に則った運営に努めた。

3) 他都道府県会事務局との連携

事務局代表者会議

2月15日(木) オンライン開催 出席 (事務局長) 長橋

9. 近畿ブロック社会福祉士会との連携事項

[代表者会議]

4月15日(日) オンライン

(会長) 奥村・(事務局長) 横田・(事務局員) 宮村 出席

8月19日(土) オンライン

(会長) 山内・(副会長・事務局長) 長橋・(理事) 磯崎 出席

2月11日(火) 大阪社会福祉会館

(会長) 山内・(副会長) 市川

[ばあとなあ連絡協議会] (再掲)

10月14日(土) オンライン

(運営委員長) 坂口

[生涯研修担当者会議]

10月21日(土) 大阪社会福祉会館

(会長) 山内・(理事) 磯崎 出席

2月11日(日) 大阪社会福祉会館

(理事) 磯崎・(理事) 中村 出席

[災害支援担当者会議]

2月11日(日) 大阪社会福祉会館

(理事) 葛城 出席

[倫理綱領伝達研修企画会議]

8月28日(土) オンライン

(委員) 坂本 出席

[近畿ブロック研修・研究大会]

近畿6府県において毎年開催している近畿ブロック研究・研修大会については、2023年度は大阪府にて開催され、4年ぶりに対面による開催となりました。

開催日 2024年2月10日(土)～11日(日)

テーマ 「ええやん、社会福祉士って！多文化共生社会における実践とつながり」

内容 シンポジウム、研究・実践発表、自由企画分科会、記念講演

【査読委員会】

[第1回] 2023年10月21日(土)

[第2回] 2023年11月 4日(土)

(委員) 奥村

10. 公益社団法人日本社会福祉士会との連携事項

(1) 総会への参画

通常総会 6月17日(土) 対面開催:東京 出席(会長) 奥村

臨時総会 9月2日(土) 対面開催:東京 出席(会長) 山内

臨時総会 3月16日(土) 対面開催:東京 出席(会長) 山内

(2) 各種委員会活動等への参画

1) 都道府県会長会議

9月2日(土)～3日(日) 対面開催:東京 出席(会長) 山内

2) 都道府県ぱあとなあ連絡協議会

10月29日(日) オンライン開催 出席(理事) 坂口

3) 全国生涯研修委員研修会議

5月14日(日) オンライン開催 出席(研修委員長) 木村

9月23日(土) 対面開催:東京 出席(理事) 磯崎、中村

4) 事務局代表者会議

2月15日(木) オンライン開催 出席(事務局長) 長橋

11. 総会・理事会の開催

(1) 総会の開催

1) 2023年6月24日(土)(定期総会)

出席者:366名(出席46名・委任状50名・書面表決者270名)

議事

報告事項 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について

第1号議案 2022年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について

第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会ぱあとなあ滋賀運営規則の改正について

第3号議案 役員の選任について

連絡事項

2023年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会年間行事予定について

2) 2024年3月23日(土)(臨時総会)

出席者:331名(出席38名・委任状293名)

議事

報告事項1 2024年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画について

報告事項2 2024年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算について

(2) 理事会の開催

[第1回] 2023年4月26日(水)

議題

第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会 個人情報等管理規程の改正について

第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会 特定個人情報取扱規程の改正について

第3号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会 委員会及び事業部会の設置及び運営に関する規程の改正について

第4号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会 事務局の組織及び運営に関する規程の改正について

第5号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会 費用弁償に関する規程の改正について

協議事項

- (1) 委員の推薦について
- (2) 通常総会の開催について
- (3) 監事の選任について
- (4) ぱあとなあ滋賀 運営委員長及び運営副委員長の選任について
- (5) 事務所整備基金の活用について
- (6) 2022年度事業報告について
- (7) 会費未納会員への対応について

報告事項

- (1) 近畿ブロック研究・研修大阪大会について
- (2) 各委員会から報告
- (3) その他

[第2回] 2023年5月17日(水)

議題

- 第1号議案 2022年度事業報告(案)について
第2号議案 2022年度決算報告(案)について
監査報告
第3号議案 ぱあとなあ滋賀運営規則の改正について
第4号議案 理事立候補者について
第5号議案 監事の選出について
第6号議案 通常総会について
第7号議案 2023年度第1次補正予算について
第8号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 委員の推薦について
- (2) 県への要望書について
- (3) 令和5年度全社協会長表彰及び感謝 候補者の推薦について
- (4) 修士論文に係る会員向けアンケート調査の協力依頼について
- (5) 30周年記念誌の作成について

報告事項

- (1) 大阪社会福祉士会における聴覚障がいのある社会福祉士に対する基礎研修等の情報保障の取組みについて
- (2) 各委員会から報告
- (3) その他

[第3回] 2023年6月13日(水)

議題

- 第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 委員の推薦について
- (2) 通常総会について
- (3) 次期役員体制について
- (4) 30周年記念誌の作成について
- (5) 情報保障体制の整備にかかる基金活用について
- (6) 2023年度倫理綱領・行動規範講師養成研修について

報告事項

- (1) 各委員会から報告
- (2) その他

[第4回] 2023年7月4日(火)

議題

協議事項

- (1) 新理事体制における業務担当について
- (2) 委員の推薦について
- (3) 事務局体制について

報告事項

- (1) 令和5年度 滋賀県社会福祉協議会 会長表彰 表彰候補者の推薦について
- (2) 各委員会から報告

[第5回] 2023年7月27日(木)

議題

第1号議案 選挙管理委員の任命について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 後援の依頼について
- (2) 委員の推薦について

報告事項

- (1) 各委員会から報告
- (3) その他

[第6回] 2023年9月15日(金)

議題

第1号議案 入会者の承認について

報告事項

- (1) 会長及び副会長の職務執行状況報告について

協議事項

- (1) 2023年度上半期事業報告の作成について

報告事項

- (1) 委員の推薦について
- (2) 各委員会から報告
- (3) その他

[第7回] 2023年10月20日(金)

第1号議案 表彰規程の制定について

協議事項

- (1) 30周年記念行事について
- (2) ぱあとなあ会員に対する苦情申立て及びその対応について
- (3) その他

報告事項

- (1) 各委員会から報告
- (2) 事務局からのお知らせ
- (3) その他

[第8回] 2023年11月17日(金)

第1号議案 入会者の承認について
第2号議案 2023年度上半期事業報告について
協議事項

- (1) ブロック活動実施要項の制定について
- (2) 各委員会委員募集について
- (3) 地区ブロック活動費、ぱあとなあブロック活動費について
- (4) 滋賀県社会福祉士会のインボイス対応について
- (5) その他

報告事項

- (1) 各委員会から報告
- (2) 事務局から報告
- (3) その他

[第9回] 2023年12月15日(金)

第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会ブロック活動実施要綱について
協議事項

- (1) 2024年度事業計画および予算について

報告事項

- (1) スーパービジョンについて
- (2) ブロック運営費について
- (3) 各委員会から報告
- (4) その他

[第10回] 2024年1月8日(月)

第1号議案 令和6年能登半島地震への対応

報告事項

- (1) 各委員会から令和6年能登半島地震に関連して
- (2) その他

[第11回] 2024年1月19日(金)

第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会ぱあとなあ滋賀ブロック活動要綱の制定について

第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会ぱあとなあ滋賀ブロック運営費交付要綱の制定について

協議事項

- (1) 2024年度事業計画・予算編成について
 - (2) 令和6年能登半島地震支援関係
 - (3) ぱあとなあにおける規程整備について
- ①ぱあとなあ滋賀 ブロック活動要綱
 - ②ぱあとなあ滋賀 ブロック活動費交付要綱
 - ③ぱあとなあ滋賀 ブロック運営委員活動費交付要綱

報告事項

- (1) 各委員会から報告
- (2) その他

[第12回] 2024年2月16日(金)

報告事項

- (1) 会長及び副会長の職務執行状況報告について
 - 第1号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会2024年度事業計画について
 - 第2号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会2024年度予算について
 - 第3号議案 公益社団法人滋賀県社会福祉士会臨時総会の開催について
 - 第4号議案 入会者の承認について
- 協議事項
- (1) 綱紀委員会の設置について
 - (2) 委員の推薦について
 - (3) その他
- 報告事項
- (1) 各委員会から報告
 - (2) その他

[第13回] 2024年3月15日(金)

- 第1号議案
公益社団法人滋賀県社会福祉士会 ぱあとなあ滋賀ブロック活動実施要綱の改正について
- 第2号議案
公益社団法人滋賀県社会福祉士会費用弁償に関する規程の改正について
- 協議事項
- (1) 臨時総会について
 - (2) 30周年記念事業について
 - (3) 委員への昼食費の支給について
 - (4) その他
- 報告事項
- (1) 各委員会・理事から報告
 - (2) その他